

おはようございます。

3月3週目掲示板の言葉です。

アントニオ猪木氏の引退時に詠まれた詩です。

猪木氏の挑戦する生き方とこの詩に備わる言葉のエネルギーが合致したのか、心惹かれました。

この詩は、力強くそして、心許ない一步を暖かく後押ししてくれるようで、背中を押して欲しい時、岐路に立たされた時、支えになったような気がします。

この詩は、僧侶 清沢哲夫氏の『無常断章』のなかに出てくる「道」をアントニオ猪木氏が引用したそうです。

現在は、結果が全てという考え方が散見されます。迷うこと、間違えること、立ち止まることが許され難いように感じます。

道を右往左往することや、迷うこと、間違えることがありながらも、現実を受け入れ、自分を見捨てずに自分の足で一步ずつ一生という道を、歩んでいきたいものです。

光華女子学園ホームページ 今月の言葉 平成22年8月 参考

言葉の選択&解説 なまくら坊主